

## 支部ニュース

# S T R E E T

Vol.356 2025年(令和7年)12月1日発刊

発行者 一般社団法人 北海道建築士会札幌支部 中央区大通西5 大五ビル 6F

TEL:011-232-1843 / FAX:011-222-0924 E-mail:[hksj@h-ab.com](mailto:hksj@h-ab.com) <http://h-ab.com/sapporo/>

### « 総務委員会からのご報告 »

#### ☆総務委員会防災担当より

令和7年11月13（木）、西区発寒地区福祉のまち推進センター様からのご依頼により、発寒交流会館にて避難所運営ゲーム「Doはぐ」のお手伝いに行ってまいりました。

発寒地区内の各町内会長を中心とした約40名の皆さまにご参加いただきました。

「Doはぐ」とは、真冬に直下型地震が発生したという想定に沿って、250枚のカードで示されたさまざまな条件をグループで話し合って解決していく「防災教育カードゲーム」です。

70分間のゲームでは、私たち総務委員会の防災担当委員がカードの読み手となり、1テーブル6～7名、合計6テーブルに分かれてゲームがスタートしました。

地区内の小学校を避難所と想定して、最初に避難所運営本部やストーブの配置、土足の範囲などを決めます。そして、次々と訪れる家族構成や心身状態、被災状況も様々な避難者をどの部屋に、どの場所に配置するか…。力を合わせ、知恵を絞り解決していきます。

その間には支援物資が届けられたり、避難者から様々な要望や苦情が寄せられたり…、被災者の受け入れに追われているのと並行して発生する数々の“イベント”への対応にも迫られます。

参加された方々からは、「町内会単位で開催してみたい」、「実際には頭で考えている想定を上回る出来事が起こり得るということを体感できた」といった感想が寄せられました。

「Doはぐ」にご興味のある方はこちらをご参照ください。

→北海道 危機対策局危機対策課ホームページ

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/218398.html>



### «事業委員会からのお知らせ»

#### ☆ピーエス株式会社北海道支店 (冷暖房・加湿・除湿 機器メーカー)

##### PSKハウス・PSマダガスカル見学会のご案内

※CPD認定プログラム(2単位)申請中

日時：令和8年1月17日（土）14:00～16:00

集合場所(見学場所1)：ピーエス株式会社 PSKハウス(北広島市輝美町8-8)

終了場所(見学場所2)：ピーエス株式会社北海道支店内 PSマダガスカル(北広島市共栄41-3)

定員：15名程度

締切：令和8年1月9日（金）

参加費：無料

詳しくはフライヤーをご参照下さい。

[https://drive.google.com/file/d/1oR7b0Gy\\_d7r-UJdEPVhWy-gVj-KyHx2x/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1oR7b0Gy_d7r-UJdEPVhWy-gVj-KyHx2x/view?usp=sharing)

※PSKハウスでは駐車場に限りがございます。

お車でお越しの際は、できるだけ台数を控えていただければと思います。

## « 青年委員会からのお知らせ »

### ☆セミナー 「デザインから納まりを考える」

#### ～意匠設計と施工の間にある「納まり」をデザインの視点から考察する

建築の「納まり」は、機能と美しさを両立させる重要な要素です。

本セミナーでは、デザインの段階から納まりを意識することの重要性と、

設計・施工の両面から見るディテールの工夫についてお話しします。

日時： 令和 7 年 12 月 20 日（土） 17:00～

場所： 市民活動プラザ星園（札幌市中央区南 8 条西 2 丁目）

講師： 札幌支部副支部長 西岡 誠

定員： 45 名

参加費： 無料（懇親会参加の方は¥4,500）

申込： 北海道建築士会札幌支部 FAX: 011-222-0924 E-mail: [hksj@h-ab.com](mailto:hksj@h-ab.com)

締切： 12 月 12 日（金）

懇親会会場： 実乃里 de バル（南 5 条西 2 丁目 6-2）

※詳しくは別紙パンフレットをご参照ください。

※CPD 認定プログラム申請中

## « 総務委員会 小委員会より »

### ☆北の国災害サポートチーム フォーラム参加のご報告

～災害から命と暮らしを守り抜く官民連携による被災者支援～

11 月 21 日フォーラムに参加してきました。  
午前中は基調講演・午後はワークショップと盛りだくさんの内容でした。沢山の団体・  
参加者と交流をして PR もしてきました。  
「防災手帳って素晴らしい。帰ったら家族  
と共有します」という声もありました。

きたサポ WEB <https://kitasapo.net/>

後援：一般社団法人北海道建築士会

共済：一般社団法人北海道建築士会

札幌支部



色々やっている  
**建築士会**

建築士会は、高い専門技術をもつ建築士の集まりとして、地震や風水害などの災害で被災した建物の安全確認調査や、復旧・復興に向けた支援活動を行っています。  
これらの経験を活かし、災害に強い建物の設計、建物の耐震化、防災まちづくりなど、被災を最小限に抑えるための勉強会や防災活動にも取り組み、災害に強い建築士の育成を目指しています。  
講師の派遣も承っておりますので、お気軽にご相談ください。

札幌支部 のとりくみ

- HUG・DRGセミナー
- 災害時の應急指揮訓練実習会
- 防災センターホーム
- 防災手帳制作

(一社) 北海道建築士会 札幌支部

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地 大五ビル6F  
(一社) 北海道建築士会内  
TEL: 011-232-1843 FAX: 011-222-0924  
<https://h-ab.info/>

## « クラブ活動からのお知らせ »

### ☆札幌支部クラブ活動の報告

- ・グルメの会 第7回は11/11(火)、洋食の「マーズカフェ」11名の参加でした。(写真参照)  
次回は来年2月に和食の予定です。



- ・ボウリング部 12/6(土)の大会を目指して各自練習中。  
・カーリングコン部 12/6(土)「江別大会」に参加します、結果は来月報告します。  
道協会例会は、12/13(土)13:00、12/18(木)13:00「かでる2・7」です。  
来春の登山再開を夢見ながら冬眠中。 新年会を行います。  
・登山、ハイキング部 第4回は来年に延期です。冬眠に入ります。  
・そば部 11/29(土)「ロストエモーション」を鑑賞、参加6名。次回は3月を予定しています。  
・映画鑑賞部 10/29(水)第1回例会を開催しました。(写真参照)  
・ダーツ部 11月22(土) 第1回例会を開催し、ニシン漬けを作りました。(写真参照)  
・発酵食品 2回目は味噌です。参加者募集しています！  
作るぞークラブ

【ダーツ部】



【発酵食品作るぞークラブ】



### ☆皆様も士会仲間でクラブ活動しませんか！参加者随時募集中

下記 HP から参加票にて事務局までお申し込みください。

クラブ活動のページへ

<https://h-ab.info/sapporo-club/>

## « 本部より »

### ☆北海道建築士会ホームページ “会員専用ページ” でオンデマンド配信中！

視聴方法 : 北海道建築士会HPの「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力  
12月パスワード : 【 Spp062 】

# 『失敗から学ぶ』 VOL.43 《寒冷地のその他》

日々の業務でヒヤリ！ハット！した情報を活用して自分をスキルアップしよう

## ■はじめに

積雪寒冷地では多方面にきめ細かな配慮が必要です。

## ■仮設電線の積雪が歩行者を直撃

歩道(公道)を架空で横断した仮設電線と構内柱接続部に積雪し凍結した氷塊が落下して、第3者の歩行者の額を直撃し怪我をさせた。

※第3者の通行部に設置する現場の仮設物等は細心の注意が必要です。

隨時パトロールして状況を把握して適切な対応をするべきですが、危険予知の意識が事故防止のポイントになります。

## ■大雪の早朝に鉄骨運搬待機車でクレーム

大雪の早朝に現場構内の除雪が間に合わず、公道に鉄骨運搬トラックが数台待機したら、近隣住民から警察に通報され注意を受けた。

※積雪期間は現場構内の除雪作業を考慮した施工計画がポイントです。

早朝や深夜の除雪は、騒音の苦情が出て作業ができない場合もあります。先を読み、危険予知の意識を持つことがポイントになります。

## ■屋上に設置した設備機器からの落雪でヒヤリ

屋上のパラペット際に設置された設備工事屋外機から、地上部に落雪しないかヒヤリとした。

※設計・監理・施工共に分離発注の工事監理で、屋上のパラペット際に設備工事の屋外機が多数設置された。

屋外機上部に積った雪がパラペットを超えて下部に落下しそうではらはらした。完成まで経過観察したがギリギリセーフだった。設計及び監理(建築工事と設備工事が分離発注)と、施工(建築工事と設備工事)が分離発注の場合は、特に情報共有がポイントです。また設備機器は設計図のみでは形状が把握できない場合があるので、別途工事でも【見える化】して形状を把握することがトラブル防止のポイントです。

## ■積雪寒冷地の下足箱

①靴底に雪が付着したまま下駄箱に入れたら泥交じりの融雪水が流れ出た。

※積雪寒冷地で外履きと内履きを履き替える施設の下足箱は、靴底に付着した雪の融雪水対策が必要です。

下足ごとに既製品の樹脂製パット等を設置すると周囲が汚れず清掃が合理的です。

②長靴が収納できない

※積雪に備えて長靴の利用者が多い施設は、長靴が収納可能な下足箱としないと長靴の置き場に苦労します。

設計段階で発注者に確認し、設計図に記載するのがポイントです。



### 自習型認定研修の設問

#### 設問 1

冬期間の施工計画で正しいのはどれか？

- a. 第3者が通行する部分の仮設は冬期間の状況に合わせ随时対応する。
- b. 冬期間の危険予知を意識して先を読んだ施工計画を行う。
- c. 冬期間施工の分離発注工事は各工事毎に施工計画に取り組む。

#### 設問 2

冬期間の配慮で正しいのはどれか？

- a. 住居地域は近隣対策で夜間や早朝の除雪作業はできない。
- b. 大雪が想定される場合は除雪時間を考慮し各搬入車両管理者と調整する。
- c. 積雪期間の公道での待機車はやむをえない。

認定教材の設問への回答は、

CPD 情報システムのページ

<https://jaeic-cpd.jp/>

にアクセスのうえ、お願いします。

※不正の場合は、単位に登録できない場合があります。